



横浜のみどりを守る！生きもののレンジャーになろう（横浜市環境活動支援センター）

- ・プログラム実施の目的
生きものを調査をしたり、すみかを作ったり、生き物の大切さを伝える「生きものを守るお仕事」を体験して、横浜のみどりをもっと豊かにする方法について考えるきっかけをつくるため。
- ・実施日時 8月17日(水) 14時～16時30分
- ・実施会場 横浜市児童遊園地
- ・参加児童数 9名 / 保護者・未就学児など同伴者数 9名
- ・プログラム内容 生きものを守るお仕事の紹介。生きものさがし。そだ柵づくり。

当日の様子



アイスブレイク

葉のにおいが同じ人を探す
「アリの力を感じよう」



同じ葉っぱだね



完成した
そだ柵



生きものさがし

プラスチックカップを持って、生きものさがし。草を食べるバッタが多いことがわかりました。



そだ柵づくり

バッタ以外の生きものを呼び込むためにその生きもののすみかとなるそだ柵づくり。慣れない手つきでノコギリ作業。

振り返り会



参加児童の主な感想、意見

(今日楽しかったこと。これからの実践の仕方)

- ・虫を捕まえたり、木を切ったり、すみかを作ったりする体験が楽しかった。
- ・みどりを増やすための取組（お花を植えたい。こういうイベントにもっと参加したい。身の回りで生きもののすみかを作りたい）を行いたい。

プログラムを終えての感想

◆企業・団体等の感想など

- 今までの親子単位のイベントと違い、子どもだけのイベントでは、大人に子どもたちが積極的に関わり、ふと心の距離が近づく瞬間があったのが、印象的だった。
- 小学生に年の近い大学生が参加することの良さが小学生への声掛け等のフォローする中で発揮されていた。

◆学生コーディネーターの感想など

- 子どもたちが自然や生き物という好きなものに対して熱中している姿、楽しんでいる姿であったり、初めてのものを見た時の表情や初体験をした時のわくわく感が見られたりしたことが印象に残った。
- 子どもたちが生き生きとイベントに参加していることが凄く印象的だった。子ども、大学生、社会人などが一緒になって活動することはなかなか無い機会なので、すごく貴重な機会にもなったと思う。